

堀 岡 敏 喜 議員



災害時に備え、学校等に マンホールトイレの設置を

問

防災等について聞く。

- (1) 同報無線は、閉め切った室内では聞き取りにくい。

Ⅲ FMの開設と併せ、

防災ラジオ【】を検討すべきではないか。

 災害時、自動で電源が入り、最大音量で行政情報等が流れるラジオ。電源切時も強制起動し、聞き逃しがなく、通常は普通のラジオとして利用できる。

- (2) 市内で下水道事業が進むこの機会に、緊急時使用できるマンホールトイレを主要施設に設置すべきではないか。

- (3) 既存の学校等は、マンホールトイレの設置は技術的に無理なのか。

- (4) コンクリートの寿命は、50年と言われている。

道路、橋等の老朽化について、維持、更新に見込まれる費用は。

下水整備と運動 して考えたい

◀ひので公園に整備されたマンホールトイレ(写真手前)



答 防災安全課長

- (1) 同報無線はデジタル回線を使用し、(FMラジオ)受信ができない。

どんな形で導入していくかは、今後の検討課題としたい。

- (2) 現在、ひので公園(Ⅱ平島地内)に9カ所ある。

24年度建築する栄南地区の集会所に5カ所、(仮称)第2校小学校(Ⅱ平島町地内に建設中)に5カ所設置する予定である。

答 学校教育課長

- (3) 公共下水完備の学校は、改修計画と併せて設置を考えていきたい。

答 土木課長

- (4) 23年に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。

24年度から10年間、災害時に優先度の高い橋梁から修繕等を計画し、総額約7億円を見込み、今後整備を図っていくたい。

自殺対策の取り組みは

問

自殺対策の実態と取り組みについて聞く。

リーフレットを 配布している

答 健康推進課長

市では23年10月現在8人が自殺で亡くなっている。22、23年度にリーフレットを配布し、3月に全職員が自殺対策に取り組むよう周知、啓発した。

路上喫煙マナー の向上対策を

問

たばこ、路上喫煙マナーの向上について、市としてどう対策していくのか。

看板を作成し 啓発に努める

答 市長

罰則条例は当面考えていないが、駅周辺、人の集まる所にポイ捨て禁止看板を作成し、啓発活動に努める。